

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月23日

上場会社名 SEホールディングス・アンド・インキュベーション 上場取引所 東
 ヨンズ株式会社
 コード番号 9478 URL http://www.sehi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 速水 浩二
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部部長 (氏名) 松村 真一 (TEL) 03-5362-3700
 四半期報告書提出予定日 2020年11月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,863	△2.0	404	70.3	411	79.5	250	159.5
2020年3月期第2四半期	2,922	16.4	237	42.0	229	72.0	96	△8.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 411百万円(462.2%) 2020年3月期第2四半期 73百万円(△48.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.13	—
2020年3月期第2四半期	4.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	9,225	4,901	53.1
2020年3月期	8,539	4,563	53.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,901百万円 2020年3月期 4,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	1.40	1.40
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	1.40	1.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	△0.6	600	33.1	600	35.6	400	93.3	17.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期2Q	23,484,226株	2020年3月期	23,484,226株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,158,696株	2020年3月期	955,426株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期2Q	22,470,140株	2020年3月期2Q	22,397,511株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

●当社では、例年、機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染が収束していない現状を踏まえ、参加者の皆様の健康と安全確保を第一に考慮し、2020年5月開催予定であった前回に引き続き開催を中止することといたしました。なお、決算説明会資料につきましては、開催予定日であった2020年11月10日までに当社ホームページに掲載すると共にTDnetでも公表する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(重要な後発事象)	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界規模での感染拡大の影響により景気が急速に悪化しましたが、その後緊急事態宣言の全面解除をきっかけに経済活動が再開し始め、「第2波」の影響もあってサービス消費は依然低水準にとどまっているものの、足許では景気持ち直しの動きが出始めております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間における連結業績につきましては、売上高2,863百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益404百万円(前年同期比70.3%増)、経常利益411百万円(前年同期比79.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益250百万円(前年同期比159.5%増)となりました。

セグメント別の業績については以下の通りです。

出版事業におきましては、書籍のオンライン販売、Webメディア及び電子書籍販売各事業が期初から好調に推移したことに加え、当第2四半期連結会計期間において書籍の店頭販売及び新刊書籍販売も持ち直してきたことから、売上高1,788百万円(前年同期比0.5%増)、セグメント利益(営業利益)445百万円(前年同期比27.0%増)となりました。

コーポレートサービス事業におきましては、徐々に業績回復しつつあるものの、新型コロナウイルス感染症拡大による受託案件の一時凍結や進行遅延などの影響が継続し、売上高269百万円(前年同期比36.9%減)、セグメント損失(営業損失)26百万円(前年同期はセグメント利益28百万円)となりました。

ソフトウェア・ネットワーク事業におきましては、店舗売上などは新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、新規事業の採算が徐々に向上してきたことや、既存ゲームコンテンツ売上などが堅調に推移したことなどから、売上高358百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益(営業利益)11百万円(前年同期はセグメント損失78百万円)となりました。

教育・人材事業におきましては、IT人材研修事業が期初から好調に推移したことに加え、オンライン化の推進などが功を奏し、売上高377百万円(前年同期比27.4%増)、セグメント利益(営業利益)74百万円(前年同期比50.1%増)と大幅増収増益になりました。

投資運用事業におきましては、有価証券投資運用額増加に伴う利息・配当金収入増加があったものの、営業投資有価証券株式評価損を計上したことなどにより、売上高69百万円(前年同期比12.3%増)、セグメント利益(営業利益)35百万円(前年同期比6.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金416百万円増加、営業投資有価証券268百万円増加、投資有価証券80百万円増加、並びに受取手形及び売掛金108百万円減少を主因に、前連結会計年度末比686百万円増の9,225百万円となりました。負債については、有利子負債346百万円増加を主因に、前連結会計年度末比348百万円増の4,324百万円となりました。純資産については、利益剰余金218百万円増加、及びその他有価証券評価差額金160百万円増加を主因に、前連結会計年度末比338百万円増の4,901百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、未定としておりましたが、緊急事態宣言が解除され、徐々に経済活動が再開されている状況を踏まえ、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表の「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は国内外の景気動向に加え、新型コロナウイルス感染症の収束時期や影響範囲など様々な要因により大きく変動する可能性があり、業績に影響を及ぼす事象が発生した場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,432	2,849
受取手形及び売掛金	1,374	1,265
営業投資有価証券	1,669	1,937
商品及び製品	596	613
仕掛品	108	162
原材料及び貯蔵品	8	7
その他	102	99
貸倒引当金	△3	△0
流動資産合計	6,287	6,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	815	816
減価償却累計額	△403	△414
建物及び構築物（純額）	411	401
土地	1,089	1,089
その他	314	341
減価償却累計額	△280	△289
その他（純額）	33	52
有形固定資産合計	1,534	1,543
無形固定資産		
その他	21	28
無形固定資産合計	21	28
投資その他の資産		
投資有価証券	187	267
敷金及び保証金	70	70
繰延税金資産	316	257
その他	135	124
貸倒引当金	△14	△4
投資その他の資産合計	694	716
固定資産合計	2,251	2,289
資産合計	8,539	9,225

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	384	357
1年内償還予定の社債	310	350
短期借入金	1,263	1,415
未払法人税等	52	102
賞与引当金	90	90
返品調整引当金	95	84
その他	574	549
流動負債合計	2,772	2,949
固定負債		
社債	465	670
長期借入金	255	205
役員退職慰労引当金	90	91
退職給付に係る負債	367	377
資産除去債務	1	1
再評価に係る繰延税金負債	7	7
その他	16	21
固定負債合計	1,203	1,374
負債合計	3,975	4,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,534	1,534
資本剰余金	1,761	1,752
利益剰余金	1,645	1,863
自己株式	△207	△239
株主資本合計	4,733	4,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△187	△26
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	△170	△9
純資産合計	4,563	4,901
負債純資産合計	8,539	9,225

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	2,922	2,863
売上原価	1,577	1,408
売上総利益	1,345	1,454
返品調整引当金戻入額	19	11
差引売上総利益	1,365	1,465
販売費及び一般管理費	1,127	1,061
営業利益	237	404
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	3
為替差益	13	3
古紙売却収入	1	0
補助金収入	-	13
その他	1	1
営業外収益合計	16	23
営業外費用		
支払利息	7	6
社債発行費	7	7
支払保証料	2	1
支払負担金	7	-
その他	-	0
営業外費用合計	24	16
経常利益	229	411
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	22	-
特別利益合計	23	0
特別損失		
固定資産売却損	0	-
固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損	9	6
減損損失	45	4
新型コロナウイルス感染症による損失	-	8
特別損失合計	55	19
税金等調整前四半期純利益	197	391
法人税、住民税及び事業税	37	149
法人税等調整額	63	△7
法人税等合計	100	141
四半期純利益	96	250
親会社株主に帰属する四半期純利益	96	250

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	96	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	160
その他の包括利益合計	△23	160
四半期包括利益	73	411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73	411
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年6月23日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行い、この処分により自己株式は37百万円(171,780株)減少いたしました。また、2020年7月29日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行い、この取得により自己株式は69百万円(375,000株)増加いたしました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において自己株式は239百万円(1,158,696株)となりました。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルスの感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、当社グループにおきましても、書店や運営するゲームセンターの一時休業等により当連結会計年度以降の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に一定の影響が及んでおります。

当感染症の収束時期やその影響の程度を合理的に予測することは現時点では困難なことから、当社グループでは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年3月期の年間を通じて当該影響が継続するものと仮定をして、繰延税金資産の回収可能性や減損損失の認識の判定等にかかる会計上の見積りを行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。